

# 友情と、敵対のブルース。

日本にラスベガス作るんや!  
男たちの熱き野望が  
OSAKAの街を焦がす



# 悲しい色やねん

GETTING BLUE  
IN COLOR

森田芳光監督作品



仲村トオル  
高嶋政宏  
藤谷美和子  
石田ゆり子  
橘ゆかり  
森尾由美  
秋野太作  
イッセー尾形  
上田正樹  
小林 薫  
江波杏子  
高島忠夫

企画 / 藤峰貞利  
プロデューサー / 黒澤 満・青木勝彦  
原作 / 小林信彦 (新潮文庫刊)  
脚本 / 森田芳光  
音楽 / 梅林 茂  
主題歌 / 「悲しい色やねん」唄・上田正樹 (CBSソニー)  
挿入歌 / 「抱いてあげる…」唄・横須賀昌美 (ポリスターレコード)  
オリジナルサウンドトラック盤 (ポリスターレコード)  
製作協力 / セントラルアーツ  
協力 / オートラマ taka-Q  
東映 サウンドシステムカンパニー提携作品

協力 / taka-Q  
日本エアシステム



純粹すぎる、愛は、凶器。

# ガラスの中のオト

それは、ゆがんだ大人たちへの、美しく危険な反抗か。

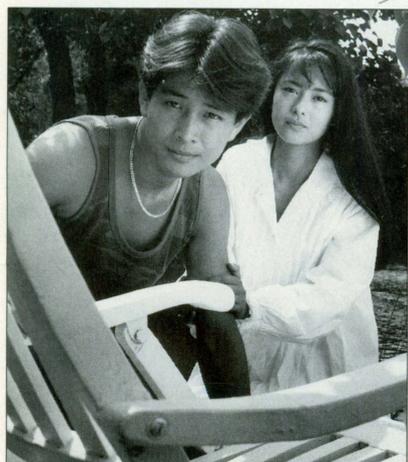
東映・オスカープロモーション提携作品  
出品 昌伸監督作品

企画 / 岡田裕介  
プロデューサー / 古賀誠一  
和 田 徹  
小島吉弘  
坂上 順  
原作 / 有馬頼義 (光文社刊)  
脚本 / 重森孝子  
出 昌 伸  
音楽 / 加藤和彦  
主題歌 / 唄 / 佐木伸路 (東芝 E.M.I.)

後藤久美子  
吉田栄作  
藤谷美紀  
浅茅陽子  
ジョエル・ソテロ  
ラサル・ル石井  
峰岸 徹  
長山監督 (特別出演)  
萬田久子  
津川雅彦

あたえられた幸せのなかで何不自由なく育てられた、少女。  
父を失い、高校もドロップアウト同然でヤバイ仕事に手を染める、少年。  
そんな出逢うはずのないふたりを結びつけたのは、一丁の拳銃だった。

# ガラスの中の少女



モデルガンだと思っていたピストル。死んだと思っていた母。しあわせだと思っていた、きらびやかに見えるガラスの日々を、若いふたりが壊したとき、夏、小さな破片たちは、初めてプリズムをよどすのだろうか美しく輝いて。  
後藤久美子と新人・吉田栄作のコンビで贈る「ガラスの中の少女」

靖子は清和女学院中等部三年生。典型的なお嬢様学校に通っている。父は新民主党の国務大臣、沖中杉太郎。靖子の病死した実母にかわってかつて自分の秘書を務めていた後妻・左都子に家を守らせている。夏休みも近いある日、靖子はいつものように駅のロッカーに急いだ。そこは塾やレッスンの道具がたくさんつまった靖子専用のロッカーになっていた。その日、靖子を守っていたのは道具だけではなかった。  
「校則、厳しいんだろ、ここに着がえ入れて、遊び回ってるのかよ」——最初は勤めが良かった。ひとりの少年が、靖子を不良少女と思ひ、学校には黙ってやるから、バイトの終る時間まで預かって欲しいと小さな紙包みを押しつけて去った。門限のある靖子は、しかたなくロッカーに張り紙をのこし、包みを持ち帰った。  
家に帰って、中身が気になるので自分の部屋で包みを開けてみると出てきたのはモデルガンだった。あの不良っぽい少年が妙に子供に思えておかしかった。



少年の名は広田陽一。高校にはほとんど行かずアルバイトに明け暮れていた。家にかえる時妹・悦子に、ちゃんと高校を卒業して就職し、父の死後病院づとめをして生計をたてている母親を助けなければと諭されるありさまだった。しかし、陽一はすでに危険な仕事に手を染めていた。父の経営していた工場の元職工で母国フィリピンに送金するため日本に不法滞在を続けているホセと改造拳銃を作った暴力団相手に売りさばっていたのだ。靖子の手にした銃もその中の一丁であった。



翌日から陽一は、改造ガンを取り戻そうと靖子につきまとう。学校や塾での様子を見て陽一は靖子が本物のお嬢様で銃をおもちのモデルガンと思ひ込んでいたことを知り、改造ガンを強引に手に入れることを躊躇する。もう少しこの奇妙な関係を保っていたらと思ったからだ。なぜなら、靖子は陽一にとって別の世界に住む魅力に満ちた美しい存在だった。そして、靖子にとって陽一は、息苦しい家庭と受験勉強に費やされる時間から少しだけ解放してくれそうな外部者だった。

# 悲しきやくざ

GETTING BLUE IN COLOR

## 友情と敵対のブルース



**三池太** 三池組 組長  
〈小林薫〉若い関西を代表する極道の組長。夕張組が目の上のコブ

**関部守** 三池組 幹部  
〈江波杏子〉三池の右腕として君臨する男。普段は大人しいが過激

**三池組**  
早くから近代化を試み急成長する極道組織



**藤倉芽衣子**  
〈橋ゆかり〉桐山の愛人。女にモテる桐山だけに気が休まらない



**保名おどり**  
カジノのディーラー  
〈森尾由美〉夕張組経営のカジノでルーレットを扱うグラマーな女



**桐山恵** 三池組 組員  
〈高嶋政宏〉若いシノギが上手で組のエリート・コースを突っ走る若者。トオルとは高校時代の同級生、夕張組・三池組という組織の対立のはざまで、運命をもてあそばされてしまう。



**堂上マコ**  
〈藤谷美和子〉堂上病院の娘。病院で扱うヤクを三池組に横流しして裏ビジネスを仕切る奔放にしてシャープな女



**夕張多喜子** 夕張組 組長夫人  
〈松居一代〉おっとりして、夫と息子を愛しているおカミさん

**夕張寿美雄** 夕張組 組長  
〈高島忠夫〉大阪で一大勢力を張る組長だが、寄る年波を感じてきた

**夕張組**  
大阪で伝統ある看板を掲げる極道組織



**盛山昇** 夕張組 幹部  
〈イッセー尾形〉昔気質の極道で、組の近代化についていけない男

**内山等** クリス社長  
〈秋野太作〉ゲーム用品工場経営者だが、遊び好きで深みにはまる

### 御殿山コンツェルン



**御殿山ミキ**  
〈石田ゆり子〉偶然、トオルと知り合い、恋するおキャンな令嬢

**御殿山大介**  
〈北村和夫〉経済の表も裏も熟知する関西財閥の雄。ミキは一人娘

どないしたら、このイライラはおさまるんや！  
クールさを装っても生まれつきの熱い血潮と燃える野心は流血の波紋を呼び、青春は悲しい色を帯びてゆく……極道稼業の秘蔵子がエリート銀行マンから転進を企てた時、男と男の友情がきしむ、親子の情が涙し、男と女の愛がゆらめく。いま最も面白いビッグタウン、大阪を舞台に、ヤバイ稼業の男ども、それに関わる女たちがビジネスと恋と暴力と「運命」に体を張り、新しいエンターテインメント・ムービーを生み出した。原作・小林信彦、脚本・監督・森田芳光は入念な現地取材を重ね、独自の角度から極道世界に切り込んで、過去の「任侠・ヤクザ映画」では見られなかったフレッシュな青春群像、アクション大作を作りあげたのである。  
血統正しき極道の秘蔵子に仲村トオル。そのライバルには昨年度の新人賞総ナメの高嶋政宏、そして高嶋の父、高島忠夫が出演、さらに藤谷美和子や江波杏子、小林薫、新人の石田ゆり子ら豪華キャストが組まれた。上田正樹の永遠のスタンダード「悲しい色やね」が主題歌、挿入歌「抱いてあげる……」を横須賀昌美が唄う。「家族ゲーム」「それから」で見せた森田流の現代感覚いっばいに、「90年代日本映画へのエポック・メイキング」となる大胆で華麗な89年正月映画が誕生した。  
物語は由緒ある極道の家のひとり息子として育った夕張トオルを軸に展開する。稼業を継ぐのを嫌った彼は、大学から銀行へ入って融資を担当するエリートとして将来を嘱望されていたが、父が巡礼先で喧嘩サタを起し、病院にかつぎこまれたことから青春に波風が立ち始めた。父の巡礼の目的は組を解散することと聞かされたトオルは、夕張組をそのままゲーム用品製作会社に移しかえ、自分が社長になって、でっかいビジネスを関西に打ち立てんと決意する。しかし夕張組と常に対立する三池組は黙ってはいなかった。高校時代からの友で、三池組にいる桐山との友情も、ヤクを仕切る奔放な美女・マコがからんで微妙になってゆく。やがて、トオルVS三池組の確執は殺しもからんで最頂点に達しようとしていた……